

令和3年度病床機能報告の定量基準分析結果について

定量基準分析（埼玉方式）のあゆみ

平成29年度

- 7月 委託業者の公募・業者決定（みずほ情報総研）
- 8月～10月 データ分析方針の検討
- 11月・2月 「埼玉県地域医療構想推進会議」での分析方針説明・中間報告・意見聴取

平成30年度

- 4月 「埼玉県地域医療構想推進会議」での分析結果報告・意見聴取
- 5月 厚労省主催「地域医療構想に関するワーキンググループ」で事例発表
- 6月 厚労省主催「都道府県医療政策研修」で事例発表
- 8月 「地域医療構想調整会議の活性化のための地域の実情に応じた定量的な基準の導入について」通知 ※厚労省が各都道府県に埼玉方式の分析ツールを提供

令和元年度

- 2～3月 平成30年度診療報酬改定を踏まえた分析業務の委託（みずほ情報総研）

令和2年度

- 2～3月 分析業務の委託（みずほ情報総研）

令和4年度

- 1～3月 分析業務の委託（みずほリサーチ&テクノロジーズ）

※令和3年度は病床機能報告様式2の報告が実施されず、分析の元データが得られなかったため実施していない。

埼玉県病床機能報告定量基準分析の枠組み

- 「ICU→高度急性期」「回復期リハ病棟→回復期」「療養病棟→慢性期」など、**どの医療機能と見なすのかが明らかな入院料の病棟**は、当該医療機能として扱う。
- 特定の医療機能と結びついていない**一般病棟・有床診療所の一般病床・地域包括ケア病棟（周産期・小児以外）**を対象に、具体的な機能の内容に応じて客観的に設定した**区分線1・区分線2**によって、高度急性期/急性期/回復期を区分する。
- 特殊性の強い周産期・小児・緩和ケアは切り分けて考える。

4 機能	大区分					
	主に成人		周産期	小児		緩和ケア
高度急性期	救命救急 ICU SCU HCU	一般病棟 有床診療所の一般病床 地域包括ケア病棟	MFICU NICU GCU	PICU	小児入院医療管理料1	
急性期			産科の一般病棟 産科の有床診療所	小児入院医療管理料2,3 小児科の急性期一般入院料1 小児科の一般病棟7:1		緩和ケア病棟 (放射線治療あり)
回復期	回復期 リハビリ病棟			小児入院医療管理料4,5 小児科の急性期一般入院料1、 一般病棟7:1以外 小児科の有床診療所		
慢性期	療養病棟 特殊疾患病棟 障害者施設等					緩和ケア病棟 (放射線治療なし)

具体的な機能に応じて区分線を引く

機能区分基準の考え方

- ① 病床機能報告のうち、主に「具体的な医療の内容に関する項目」のデータの中から、外科的治療・内科的治療・全身管理等の幅広い診療内容を加味して基準を構成。
- ② 区分線 1 のしきい値は、救命救急入院料やICUの大半が、高度急性期に区分される程度とする。
- ③ 区分線 2 のしきい値は、急性期一般入院料 1 の大半が、高度急性期・急性期に区分される程度とする。
- ④ 区分線 1・2 を設定した結果、高度急性期・急性期・回復期の 1 日あたり入院患者数が、「埼玉県地域医療構想における現在（2013年）の需要推計」との間に大きな齟齬がないか確認する。

ただし、実際には各病棟にはさまざまな病期の患者が混在する中で、病棟単位での集計結果に応じて区分するため、ある病棟が、わずかな機能の差によって、「急性期の病棟」に区分されたり「回復期の病棟」に区分されたりし、それに応じて「急性期の病棟の病床数」も大きく変わる。
区分線には「絶対の閾値」があるわけではなく、ある程度の幅をもたせて考えることが必要。

高度急性期・急性期の区分（区分線1）の指標

○救命救急やICU等で特に多く提供されている医療

- A：【手術】全身麻酔下手術
- B：【手術】胸腔鏡・腹腔鏡下手術
- C：【がん】悪性腫瘍手術
- D：【脳卒中】超急性期脳卒中加算
- E：【脳卒中】脳血管内手術
- F：【心血管疾患】経皮的冠動脈形成術（※）
- G：【救急】救急搬送診療料
- H：【救急】救急医療に係る諸項目（☆）
- I：【救急】重症患者への対応に係る諸項目（☆）
- J：【全身管理】全身管理への対応に係る諸項目（☆）

※...診療報酬上の入院料ではなくデータから特定がしにくいCCUへの置き換えができなかったこと、
経皮的冠動脈形成術の算定が一般病棟7:1よりもICU等に集中していることによる。

☆...機能報告のデータ項目のうち、救命救急やICU等で算定が集中しているものに限定。

→ これらの医療内容に関する稼働病床数当たりの算定回数を指標に用い、しきい値を設定。

区分線1で高度急性期に分類される病棟の割合（令和3年度報告）

区分線1で高度急性期に分類する要件			しきい値		該当する病棟の割合				
			最大使用病床1床当たりの月間の回数	40床の病棟に換算した場合	救命・ICU・SCU・HCU	急性期一般病棟1,一般病棟7:1(※)	左記以外の病院一般病棟(※)	有床診の一般病床(※)	地域包括ケア病棟
手術	A	全身麻酔下手術	2.0回/月・床以上	80回/月以上	35.3%	2.1%	1.8%	3.0%	0.0%
	B	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	17.6%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%
がん	C	悪性腫瘍手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	20.6%	3.2%	0.0%	0.8%	0.0%
脳卒中	D	超急性期脳卒中加算	あり	あり	18.6%	0.8%	0.0%	0.0%	算定不可
	E	脳血管内手術	あり	あり	28.4%	0.5%	0.6%	0.0%	0.0%
心血管疾患	F	経皮的冠動脈形成術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	19.6%	1.3%	0.6%	0.8%	0.0%
救急	G	救急搬送診療料	あり	あり	9.8%	2.4%	0.0%	0.0%	算定不可
	H	救急医療に係る諸項目（下記の合計）	0.2回/月・床以上	8回/月以上	52.9%	2.1%	1.8%	2.3%	0.0%
		・救命のための気管内挿管							
・体表面・食道ペースティング法		・心膜穿刺							
I	重症患者への対応に係る諸項目（下記の合計）	0.2回/月・床以上	8回/月以上	42.2%	1.3%	1.2%	0.0%	0.0%	
・観血的肺動脈圧測定	・頭蓋内圧持続測定(3時間超)								
・持続緩徐式血液濾過	・人工心肺								
・大動脈バルーンポンピング法	・血漿交換療法								
・経皮的心肺補助法	・吸着式血液浄化法								
J	全身管理への対応に係る諸項目（下記の合計）	8.0回/月・床以上	320回/月以上	47.1%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
・観血的動脈圧測定(1時間超)	・胸腔穿刺								
		・ドレーン法	・人工呼吸(5時間超)						
上記A～Jのうち1つ以上を満たす					68.6%	14.1%	5.9%	6.8%	0.0%

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科であるものを除く。

急性期・回復期の区分（区分線2）の指標

○急性期一般入院料1（従前の一般病棟7:1）にて多く提供されている医療

- K：【手術】手術
- L：【手術】胸腔鏡・腹腔鏡下手術
- M：【がん】放射線治療
- N：【がん】化学療法
- O：【救急】救急搬送による予定外の入院

○一般病棟や地域包括ケア病棟で共通して用いられている指標

- P：【重症度、医療・看護必要度】
基準（「A得点2点以上かつB得点3点以上」「B14又はB15に該当する患者であって、A得点が1点以上かつB得点が3点以上」「A得点3点以上」「C得点1点以上」）を満たす患者割合

→これらの医療内容に関する稼働病床数当たりの算定回数を指標に用い、しきい値を設定。

区分線2で急性期に分類される病棟の割合（令和3年度報告）

区分線2で急性期に分類する要件			しきい値		該当する病棟の割合				
			最大使用病床1床当たりの月間の回数	40床の病棟に換算した場合	急性期一般病棟1,一般病棟7:1(※)	急性期一般病棟2-7,一般病棟10:1(※)	その他一般病棟(※)	有床診の一般病床(※)	地域包括ケア病棟
手術	K	手術	2.0回/月・床以上	80回/月以上	8.5%	3.5%	3.5%	23.5%	0.0%
	L	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.1回/月・床以上	4回/月以上	21.0%	14.2%	0.0%	0.8%	0.0%
がん	M	放射線治療（レプト枚数）	0.1枚/月・床以上	4枚/月以上	11.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	N	化学療法（日数）	1.0日/月・床以上	40日/月以上	15.2%	1.8%	0.0%	0.8%	0.0%
救急	O	予定外の救急医療入院の人数	10人/年・床以上	33.3人/月以上	17.8%	10.6%	1.8%	0.0%	3.1%
重症度等	P	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合	I:31%以上 II:29%以上		68.9%	38.1%	7.0%	0.0%	6.3%
			上記K～Pのうち1つ以上を満たす		79.8%	47.8%	12.3%	23.5%	9.4%

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科であるものを除く。

令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【埼玉県全体】

4機能区分別の病床稼働率について、「(国の基準による)地域医療構想における想定%」と「今回の区分結果の%」との比較表示をしている。

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	101病床	710人/日	1,236床	55.2%	4.4日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病床・地域包括ケア病床等	高度急性期	72病床	2,062人/日	2,646床	78.4%	9.6日	
		急性期	320病床	10,431人/日	13,581床	76.3%	12.0日	
	回復期リハビリ病床	回復期	223病床	5,889人/日	8,678床	69.0%	19.9日	
		回復期	83病床	3,451人/日	3,953床	87.5%	67.6日	
	特殊疾患病床・障害者施設等	慢性期	64病床	2,553人/日	3,005床	83.8%	104.2日	
	医療療養病床	慢性期	170病床	7,211人/日	7,788床	89.6%	229.8日	
介護療養病床	慢性期	6病床	243人/日	292床	83.4%	224.6日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	29病床	290人/日	457床	67.9%	15.4日	
	産科の一般病床	急性期	78病床	1,245人/日	1,948床	71.3%	6.0日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病床等	高度急性期	14病床	259人/日	398床	65.2%	6.5日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	16病床	229人/日	492床	46.4%	6.3日	
		回復期	2病床	19人/日	34床	59.9%	5.8日	
緩和ケア	緩和ケア病床	急性期	3病床	53人/日	71床	74.5%	19.0日	放射線治療の実施がある病床を急性期、ない病床を慢性期とする
		慢性期	16病床	229人/日	369床	58.3%	22.7日	
その他	不明	不明/休棟	119病床	2,579人/日	3,987床	64.3%	15.7日	
	休棟・休床中	不明/休棟	47病床	156人/日	980床	5.5%	10.2日	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	3,322人/日	75.0%	70.4%
急性期	11,958人/日	78.0%	74.7%
回復期	9,359人/日	90.0%	75.1%
慢性期	10,237人/日	92.0%	86.8%
不明	2,735人/日	—	52.9%
合計	37,610人/日	—	74.6%

回復期の内訳		病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病床		87.5%
うち産科・小児科を除く急性期一般病床1、一般病床7:1		77.1%
うち産科・小児科を除くその他の一般病床		65.1%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病床等		77.5%
うち産科・小児科を除く有床診療所		49.8%
うち小児科の一般病床・有床診療所		59.9%

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	216病床	3,322人/日	4,737床	6,219床	5,528床	70.4%	7.7日
急性期 計	417病床	11,958人/日	16,092床	24,406床	17,954床	74.7%	10.7日
回復期 計	308病床	9,359人/日	12,665床	6,092床	16,717床	75.1%	27.2日
慢性期 計	256病床	10,237人/日	11,454床	12,218床	14,011床	86.8%	150.4日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	166病床	2,735人/日	4,967床	980床☆		52.9%	15.6日
全体	1,363病床	37,610人/日	49,915床	49,915床	54,210床	74.6%	16.7日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病床等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	304床
急性期	2,797床
回復期	248床
慢性期	638床
休床中・無回答	980床
	4,967床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病床を除いて算出。

4機能区分別の病床数について、「今回の区分結果」「病床機能報告」「地域医療構想の必要病床数」の3つを比較表示。

回復期については、入院料や診療科の種類によって、より細分化する形で、病床稼働率を表示。

(参考) 令和元年度病床機能報告 定量基準分析結果【埼玉県全体】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	95病棟	661人/日	914床	71.8%	3.7日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	67病棟	2,203人/日	2,616床	84.2%	10.2日	
		急性期	371病棟	12,740人/日	15,716床	80.9%	12.2日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	266病棟	7,122人/日	10,009床	72.3%	17.2日	
		回復期	79病棟	3,305人/日	3,692床	88.9%	67.6日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	66病棟	2,664人/日	3,073床	86.8%	107.1日	
	医療療養病床	慢性期	183病棟	7,656人/日	8,684床	89.2%	211.4日	
介護療養病床	慢性期	9病棟	410人/日	471床	86.4%	242.7日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	27病棟	278人/日	423床	67.8%	14.8日	
	産科の一般病床	急性期	85病棟	1,446人/日	2,116床	75.7%	6.4日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	14病棟	332人/日	415床	80.1%	6.9日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	16病棟	276人/日	508床	57.2%	5.7日	
		回復期	3病棟	30人/日	72床	42.2%	6.6日	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	3病棟	50人/日	61床	82.1%	22.5日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	12病棟	184人/日	257床	69.2%	23.8日	
その他	不明	不明/休棟	33病棟	236人/日	592床	40.5%	18.5日	
	休棟・休床中	不明/休棟	45病棟	48人/日	993床	5.0%	19.1日	

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	203病棟	3,474人/日	4,368床	6,238床	5,528床	79.9%	7.6日
急性期 計	475病棟	14,511人/日	18,401床	24,763床	17,954床	79.8%	11.0日
回復期 計	348病棟	10,457人/日	13,773床	5,739床	16,717床	76.8%	22.6日
慢性期 計	270病棟	10,914人/日	12,485床	12,874床	14,011床	88.2%	159.3日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	78病棟	284人/日	1,585床	998床☆		17.6%	18.6日
全体	1,374病棟	39,640人/日	50,612床	50,612床	54,210床	79.0%	16.9日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	3,474人/日	75.0%	79.9%
急性期	14,511人/日	78.0%	79.8%
回復期	10,457人/日	90.0%	76.8%
慢性期	10,914人/日	92.0%	88.2%
不明	284人/日	—	17.6%
合計	39,640人/日	—	79.0%

回復期の内訳		病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟		88.9%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1		82.7%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟		67.7%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等		71.4%
うち産科・小児科を除く有床診療所		56.7%
うち小児科の一般病棟・有床診療所		42.2%

4機能区分	入院料に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	293床
回復期	162床
慢性期	132床
休棟中・無回答	998床
	1,585床

令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【南部圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率	平均在棟日数	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	9病棟	50人/日	88床	51.0%	3.0日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	5病棟	94人/日	164床	76.8%	13.4日	
		急性期	35病棟	1,245人/日	1,634床	74.6%	11.9日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	24病棟	704人/日	969床	70.3%	18.2日	
		回復期	8病棟	348人/日	373床	93.4%	61.6日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	2病棟	56人/日	75床	74.2%	52.2日	
	医療療養病床	慢性期	13病棟	455人/日	576床	86.0%	156.8日	
	介護療養病床	慢性期	3病棟	126人/日	147床	85.7%	339.5日	
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	4病棟	30人/日	42床	70.2%	15.6日	
	産科の一般病床	急性期	9病棟	189人/日	260床	75.4%	5.9日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	1病棟	14人/日	28床	50.0%	5.2日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	2病棟	15人/日	50床	29.4%	4.0日	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	2病棟	24人/日	42床	57.1%	18.3日	
その他	不明	不明/休棟	2病棟	26人/日	38床	67.1%	9.0日	
	休棟・休床中	不明/休棟	4病棟	0人/日	37床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	188人/日	75.0%	65.5%
急性期	1,448人/日	78.0%	73.4%
回復期	1,052人/日	90.0%	77.0%
慢性期	661人/日	92.0%	82.9%
不明	26人/日	—	34.0%
合計	3,375人/日	—	74.9%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	93.4%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7-1	74.5%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	60.7%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	91.0%
うち産科・小児科を除く有床診療所	69.2%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

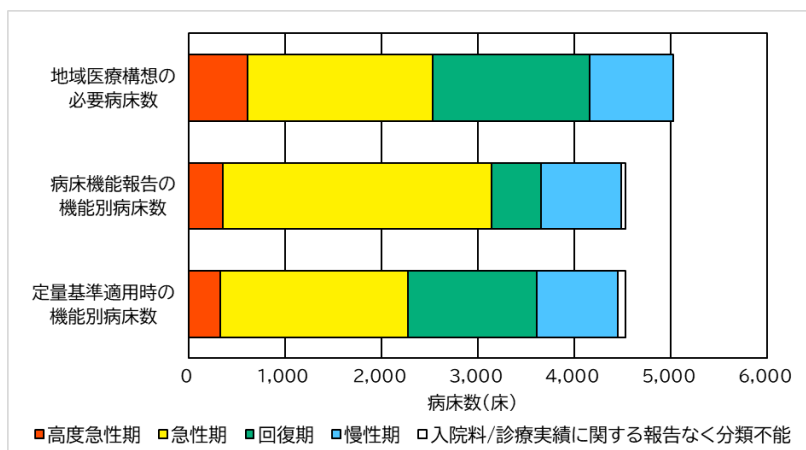
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	19病棟	188人/日	322床	354床	609床	65.5%	7.2日
急性期 計	46病棟	1,448人/日	1,944床	2,786床	1,922床	73.4%	10.2日
回復期 計	32病棟	1,052人/日	1,342床	511床	1,623床	77.0%	24.2日
慢性期 計	20病棟	661人/日	840床	835床	871床	82.9%	113.0日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	6病棟	26人/日	75床	37床☆	-	34.0%	9.0日
全体	123病棟	3,375人/日	4,523床	4,523床	5,025床	74.9%	15.3日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	38床
急性期	0床
回復期	0床
慢性期	0床
休棟中・無回答	37床
	75床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・現在の病床数は、2025年における必要病床数を下回っており、一層の病床確保が課題ではないか。
- ・一方、4機能区分ともに、病床稼働率が、地域医療構想における想定病床稼働率を下回っており、特に回復期について乖離が著しい（但し、新型コロナウイルス対応のために、平時と異なる患者受入状況となっている可能性に留意が必要）。
- ・一方、回復期の中でも、回復期リハビリテーション病棟の数と稼働率は、2018年：6病棟262床、稼働率96.4%、2019年：7病棟302床、稼働率78.2%、2020年度：8病棟373床、稼働率93.4%となっており、増床が続く中でも、逼迫が生じているのではないか。

令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【南西部圏域】

大区分	入院科・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	14病棟	57人/日	130床	44.0%	4.2日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	6病棟	188人/日	211床	85.8%	9.5日	
		急性期	31病棟	1,131人/日	1,394床	81.2%	12.7日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	24病棟	640人/日	907床	68.3%	21.3日	
		回復期	7病棟	277人/日	296床	93.5%	73.2日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	11病棟	423人/日	475床	91.7%	73.9日	
	医療療養病床	慢性期	15病棟	611人/日	650床	94.3%	291.5日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	3病棟	16人/日	30床	54.4%	15.4日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
	産科の一般病棟	急性期	6病棟	98人/日	143床	69.1%	5.3日	
小児	小児入院管理科・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院科の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	2病棟	36人/日	85床	41.8%	6.0日	
		回復期	1病棟	19人/日	32床	59.9%	5.8日	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	3病棟	83人/日	99床	86.0%	24.9日	
その他	不明	不明/休棟	7病棟	116人/日	147床	80.4%	24.4日	
	休棟・休床中	不明/休棟	1病棟	0人/日	5床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	261人/日	75.0%	64.0%
急性期	1,264人/日	78.0%	77.8%
回復期	936人/日	90.0%	74.8%
慢性期	1,117人/日	92.0%	93.0%
不明	116人/日	—	77.5%
合計	3,694人/日	—	78.8%

回復期の内訳		病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟		93.5%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1		52.0%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟		78.2%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等		72.2%
うち産科・小児科を除く有床診療所		29.7%
うち小児科の一般病棟・有床診		59.9%

4機能ごとに集計

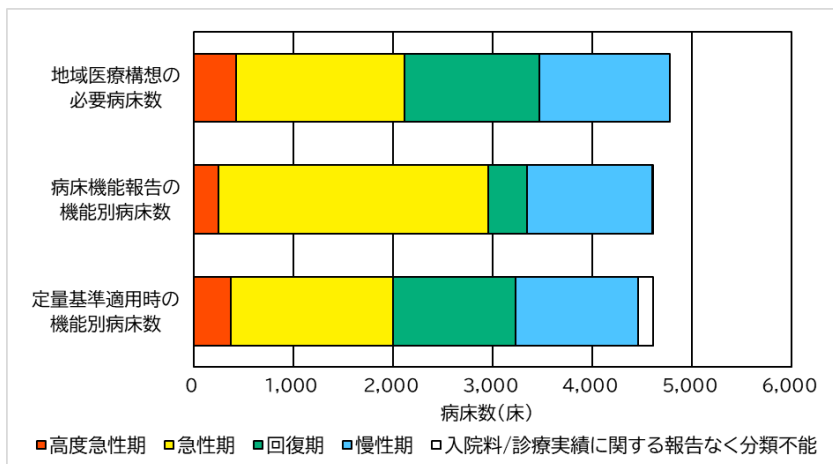
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	23病棟	261人/日	371床	244床	425床	64.0%	7.0日
急性期 計	39病棟	1,264人/日	1,622床	2,706床	1,685床	77.8%	11.0日
回復期 計	32病棟	936人/日	1,235床	394床	1,356床	74.8%	25.8日
慢性期 計	29病棟	1,117人/日	1,224床	1,255床	1,311床	93.0%	117.0日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	8病棟	116人/日	152床	5床☆	5床	77.5%	24.4日
全体	131病棟	3,694人/日	4,604床	4,604床	4,777床	78.8%	17.1日

4機能区分	入院科や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	123床
回復期	24床
慢性期	0床
休棟中・無回答	5床
	152床

※「機能区分不明」とは、入院科の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

・急性期・慢性期の病床稼働率はおおむね地域医療構想における想定水準であるが、回復期の病床稼働率は74.8%であり、地域医療構想における想定(90%)よりも低く、回復期リハビリテーション病棟以外でそれが顕著である。回復期リハビリテーション以外の回復期の病床の稼働率の向上が課題ではないか。

令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【東部圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	13病棟	76人/日	142床	38.8%	3.8日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	14病棟	410人/日	539床	76.0%	10.8日	
		急性期	49病棟	1,550人/日	2,072床	74.5%	11.9日	
	回復期リハビリ病棟 特殊疾患病棟・障害者施設等	回復期	25病棟	603人/日	938床	67.2%	18.9日	
		回復期	16病棟	724人/日	804床	90.3%	74.7日	
		慢性期	16病棟	634人/日	729床	88.5%	114.5日	
		慢性期	19病棟	1,103人/日	885床	86.3%	275.5日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	6病棟	24人/日	58床	63.4%	11.4日	
	産科の一般病床	急性期	12病棟	204人/日	264床	85.4%	5.7日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	3病棟	73人/日	117床	62.4%	7.1日	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	5病棟	49人/日	109床	44.7%	20.9日	
その他	不明	不明/休棟	24病棟	471人/日	812床	59.7%	14.8日	
	休棟・休床中	不明/休棟	7病棟	0人/日	168床	0.1%	5.0日	

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	33病棟	509人/日	739床	212床	831床	70.6%	9.5日
急性期 計	64病棟	1,827人/日	2,453床	4,530床	2,783床	74.9%	10.4日
回復期 計	41病棟	1,327人/日	1,742床	1,043床	2,734床	77.9%	31.7日
慢性期 計	40病棟	1,786人/日	1,723床	1,684床	2,587床	83.9%	126.6日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	31病棟	471人/日	980床	168床☆	-	49.2%	14.7日
全体	209病棟	5,919人/日	7,637床	7,637床	8,935床	73.3%	16.8日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

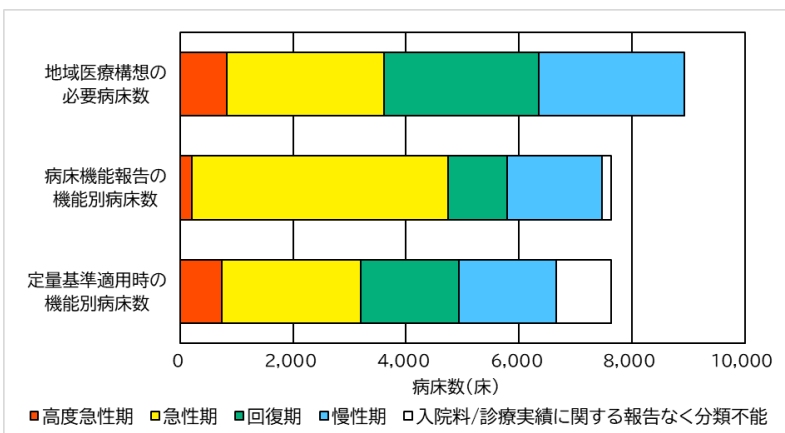
	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	509人/日	75.0%	70.6%
急性期	1,827人/日	78.0%	74.9%
回復期	1,327人/日	90.0%	77.9%
慢性期	1,786人/日	92.0%	83.9%
不明	471人/日	—	49.2%
合計	5,919人/日	—	73.3%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	90.3%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	78.2%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	60.8%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	73.0%
うち産科・小児科を除く有床診療所	62.1%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	719床
回復期	74床
慢性期	19床
休棟中・無回答	168床
	980床

【集計分析結果から想定される課題】

- ・高度急性期の病床数について、病床機能報告における（医療機関の自主的な選択に基づく）病床数が著しく少なく、2025年における必要病床数のみならず、定量基準適用時の病床数よりも大幅に少ない状態にある。すなわち、医療機関自らが「高度急性期の病棟」と位置付けていない病棟において、実際には多数の高度急性期相当の患者に対応しているケースが多いのではないかと。
- ・一方、高度急性期の病床稼働率は、2018年：69.6%→2019年：64.5%→2020年：70.6%であり、依然として地域医療構想における想定病床稼働率（75%）よりも低い。高度急性期～急性期の患者の受入について、医療機関間の機能分担を明確化し、1医療機関当たりの対応体制の強化を図ることが課題なのではないかと。



令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【さいたま圏域】

大区分	入院科・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	21病棟	154人/日	235床	64.5%	4.3日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	15病棟	451人/日	557床	80.6%	8.4日	
		急性期	53病棟	1,589人/日	2,075床	76.6%	11.3日	
	回復期リハビリ病棟 特殊疾患病棟・障害者施設等	回復期	24病棟	676人/日	939床	74.7%	18.0日	
		回復期	10病棟	421人/日	487床	87.6%	63.4日	
		慢性期	4病棟	152人/日	194床	77.5%	219.0日	
		慢性期	17病棟	750人/日	815床	92.2%	209.1日	
周産期	医療療養病床	慢性期	2病棟	66人/日	84床	78.4%	112.8日	
	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	8病棟	102人/日	144床	75.3%	15.6日	
	産科の一般病棟	急性期	14病棟	172人/日	278床	68.9%	6.8日	
小児	小児入院管理科・小児科の一般病棟等	高度急性期	10病棟	193人/日	276床	69.8%	6.5日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	4病棟	43人/日	100床	43.2%	6.5日	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	1病棟	0人/日	20床	0.0%	-	
その他	不明	不明/休棟	16病棟	405人/日	566床	67.3%	16.6日	
	休棟・休床中	不明/休棟	4病棟	17人/日	89床	19.2%	8.8日	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	899人/日	75.0%	74.5%
急性期	1,805人/日	78.0%	74.5%
回復期	1,097人/日	90.0%	79.5%
慢性期	967人/日	92.0%	86.6%
不明	422人/日	—	59.7%
合計	5,189人/日	—	75.9%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	87.6%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	70.2%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	74.0%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	80.0%
うち産科・小児科を除く有床診療所	-
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	54病棟	899人/日	1,212床	1,526床	1,039床	74.5%	7.2日
急性期 計	71病棟	1,805人/日	2,453床	3,303床	2,770床	74.5%	10.5日
回復期 計	34病棟	1,097人/日	1,426床	689床	2,301床	79.5%	25.5日
慢性期 計	24病棟	967人/日	1,113床	1,252床	1,554床	86.6%	196.7日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	20病棟	422人/日	655床	89床☆	-	59.7%	15.9日
全体	203病棟	5,189人/日	6,859床	6,859床	7,664床	75.9%	13.5日

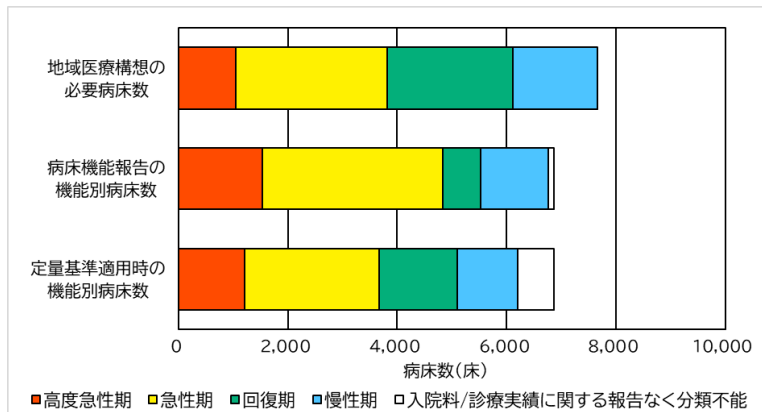
4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	140床
急性期	234床
回復期	30床
慢性期	162床
休棟中・無回答	89床
	655床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

【集計分析結果から想定される課題】



- 回復期・慢性期の病床数が、2025年における必要病床数に対して不足している。今後、入院医療需要のさらなる増大が予想される中で、「医療区分1の患者等の在宅移行の推進」「病床稼働率の向上」「病床の転換」が、県平均以上に必要ではないか。
- 一方、回復期リハビリテーション病棟以外の回復期の病床の稼働率が低く、軽症急性期の病床稼働率の向上も含めた需要増への対応が重要な課題ではないか。

令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【県央圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	8病床	60人/日	117床	51.0%	3.6日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病床・地域包括ケア病床等	高度急性期	6病床	188人/日	228床	89.6%	8.4日	
		急性期	24病床	756人/日	1,021床	74.2%	11.7日	
		回復期	11病床	256人/日	386床	69.4%	21.9日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	6病床	233人/日	275床	84.7%	74.6日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	2病床	76人/日	91床	83.3%	80.8日	
	医療療養病床	慢性期	16病床	545人/日	668床	81.6%	269.6日	
介護療養病床	慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
	産科の一般病床	急性期	5病床	65人/日	88床	74.4%	5.5日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病床等	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		急性期	1病床	10人/日	14床	72.3%	4.2日	
		回復期	1病床	0人/日	2床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	2病床	43人/日	57床	75.3%	19.5日	
		慢性期	1病床	12人/日	15床	79.6%	30.7日	
その他	不明	不明/休棟	8病床	142人/日	281床	53.7%	17.4日	
	休棟・休床中	不明/休棟	3病床	0人/日	75床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	248人/日	75.0%	75.8%
急性期	874人/日	78.0%	74.2%
回復期	489人/日	90.0%	76.0%
慢性期	633人/日	92.0%	81.8%
不明	142人/日	—	41.7%
合計	2,386人/日	—	72.6%

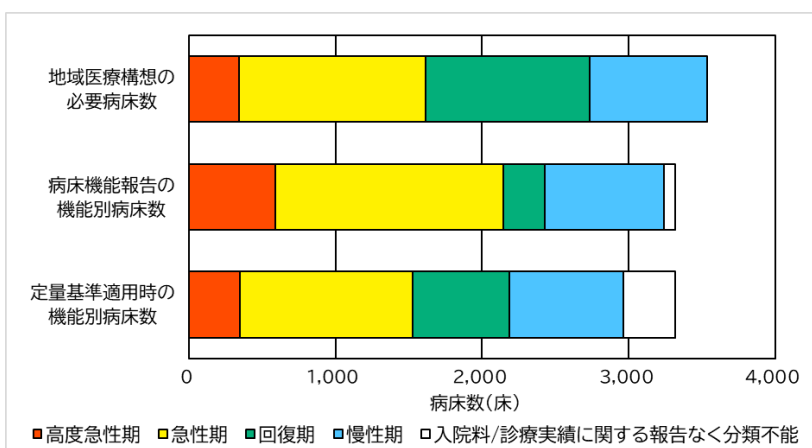
回復期の内訳		病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟		84.7%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1		93.7%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟		63.1%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等		44.7%
うち産科・小児科を除く有床診療所		44.0%
うち小児科の一般病棟・有床診		-

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	14病床	248人/日	345床	587床	344床	75.8%	6.4日
急性期 計	32病床	874人/日	1,180床	1,558床	1,273床	74.2%	10.7日
回復期 計	18病床	489人/日	663床	286床	1,120床	76.0%	33.0日
慢性期 計	19病床	633人/日	774床	812床	797床	81.8%	170.8日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	11病床	142人/日	356床	75床☆	-	41.7%	17.4日
全体	94病床	2,386人/日	3,318床	3,318床	3,534床	72.6%	15.2日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病床等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	262床
回復期	0床
慢性期	19床
休棟中・無回答	75床
	356床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。
 ☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの
 *「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

・回復期の病床数が、2025年における必要病床数に対して不足している。今後、入院医療需要のさらなる増大が予想される中で、「医療区分1の患者等の在宅移行の推進」「病床稼働率の向上」「病床数の増」が、県平均以上に必要ではないか。一方、回復期リハビリテーション病棟の病床稼働率は地域医療構想における想定病床稼働率(90%)よりも低い。

令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【川越比企圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	7病棟	58人/日	94床	57.2%	5.0日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	11病棟	209人/日	333床	63.4%	9.6日	
		急性期	44病棟	1,403人/日	1,688床	76.8%	11.9日	
		回復期	31病棟	918人/日	1,332床	70.1%	20.0日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	11病棟	471人/日	558床	84.4%	73.4日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	8病棟	330人/日	376床	85.5%	61.5日	
	医療療養病床	慢性期	31病棟	1,304人/日	1,453床	89.7%	269.8日	
介護療養病床	慢性期	1病棟	52人/日	61床	84.5%	400.2日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	7病棟	116人/日	180床	64.7%	16.0日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
	産科の一般病床	急性期	11病棟	203人/日	310床	74.2%	6.7日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	3病棟	53人/日	94床	56.2%	6.6日	
		急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
		慢性期	2病棟	38人/日	50床	76.0%	27.1日	
その他	不明	不明/休棟	8病棟	115人/日	276床	41.6%	9.3日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
	休棟・休床中	不明/休棟	10病棟	108人/日	146床	20.6%	11.4日	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	436人/日	75.0%	62.4%
急性期	1,606人/日	78.0%	76.4%
回復期	1,389人/日	90.0%	74.8%
慢性期	1,723人/日	92.0%	88.2%
不明	223人/日	—	34.3%
合計	5,377人/日	—	73.8%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	84.4%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	84.9%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	59.6%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	79.1%
うち産科・小児科を除く有床診療所	57.7%
うち小児科の一般病棟・有床診療	-

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	28病棟	436人/日	701床	1,726床	802床	62.4%	9.7日
急性期 計	55病棟	1,606人/日	1,998床	2,045床	2,260床	76.4%	10.8日
回復期 計	42病棟	1,389人/日	1,890床	1,074床	2,518床	74.8%	27.3日
慢性期 計	42病棟	1,723人/日	1,940床	1,960床	2,072床	88.2%	147.9日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	18病棟	223人/日	422床	146床	146床	34.3%	9.7日
全体	185病棟	5,377人/日	6,951床	6,951床	7,652床	73.8%	17.9日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	76床
急性期	200床
回復期	0床
慢性期	0床
休棟中・無回答	146床
	422床

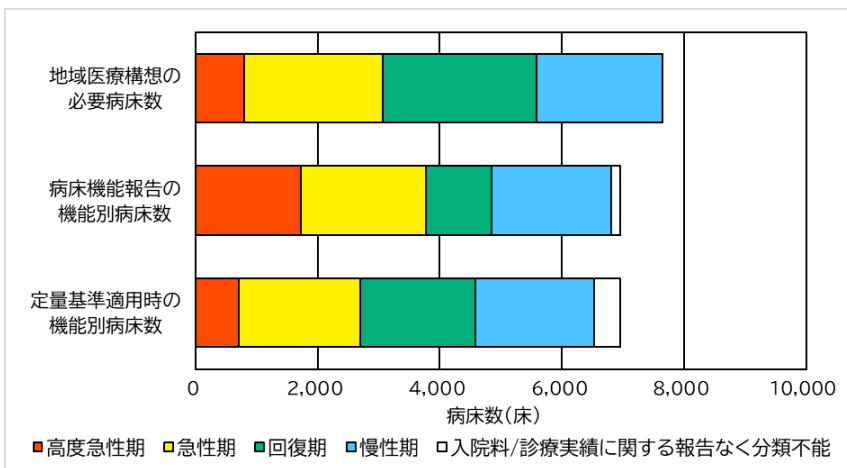
※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

【集計分析結果から想定される課題】

- ・ 県全体の傾向と同様、回復期の病床稼働率が2018年：69.5%→2019年：78.2%→2020年度：74.8%であり、依然として地域医療構想における想定病床稼働率(90%)よりも低い。
- ・ 一方、病床数は2025年における必要病床数に対し不足しており、回復期の病床稼働率の向上を通じた需要増への対応が必要となるのではないかと。
- ・ 病床機能報告での報告ベースでの高度急性期の病床数が多いため、高度急性期を担う病棟が満たすべき要件を明確化した上で、それをどの病院・病棟が担うかを整理することが必要ではないかと。



令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【西部】

大区分	入院科・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	16病棟	134人/日	183床	73.3%	4.9日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	7病棟	220人/日	253床	82.4%	8.6日	
		急性期	29病棟	886人/日	1,247床	73.4%	12.1日	
		回復期	31病棟	753人/日	1,217床	69.7%	25.3日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	13病棟	488人/日	595床	80.9%	62.8日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	9病棟	375人/日	490床	76.4%	433.3日	
	医療療養病床	慢性期	26病棟	1,211人/日	1,301床	94.0%	283.6日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	1病棟	3人/日	3床	97.7%	8.4日	
	産科の一般病床	急性期	9病棟	134人/日	222床	68.5%	6.0日	
小児	小児入院管理科・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院科の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	2病棟	29人/日	54床	52.9%	11.5日	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	1病棟	16人/日	20床	80.2%	21.8日	
その他	不明	不明/休棟	32病棟	1,050人/日	1,269床	82.4%	17.3日	
	休棟・休床中	不明/休棟	7病棟	0人/日	143床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	地域医療構想の想定	病床稼働率(*)	今回の区分結果
高度急性期	357人/日	75.0%	78.3%	78.3%
急性期	1,049人/日	78.0%	71.6%	71.6%
回復期	1,241人/日	90.0%	74.2%	74.2%
慢性期	1,602人/日	92.0%	88.4%	88.4%
不明	1,050人/日	-	72.8%	72.8%
合計	5,298人/日	-	77.6%	77.6%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	80.9%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	91.2%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	63.5%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	81.1%
うち産科・小児科を除く有床診療所	67.1%
うち小児科の一般病棟・有床診療	-

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	24病棟	357人/日	439床	815床	694床	78.3%	6.4日
急性期 計	40病棟	1,049人/日	1,523床	2,955床	2,249床	71.6%	10.4日
回復期 計	44病棟	1,241人/日	1,812床	871床	2,370床	74.2%	34.2日
慢性期 計	36病棟	1,602人/日	1,811床	2,213床	2,638床	88.4%	271.5日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	39病棟	1,050人/日	1,412床	143床☆	143床☆	72.8%	17.3日
全体	183病棟	5,298人/日	6,997床	6,997床	7,951床	77.6%	21.1日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	887床
回復期	36床
慢性期	346床
休棟中・無回答	143床
	1,412床

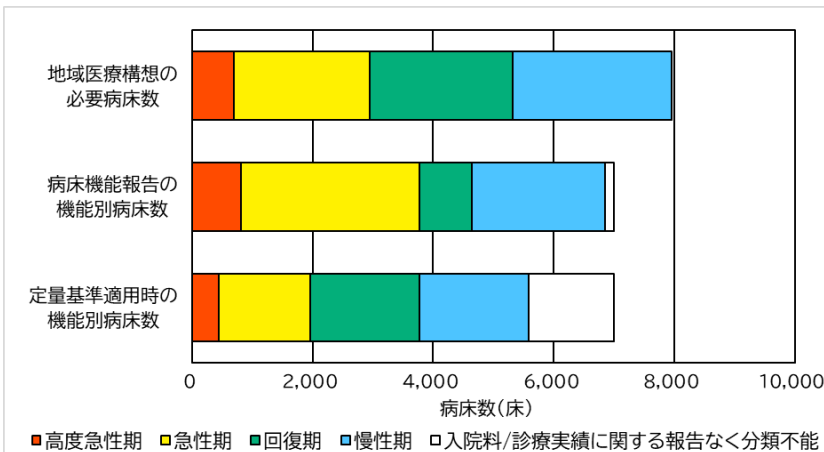
※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

【集計分析結果から想定される課題】

- ・高度急性期の病床稼働率が（区分線1付近の病棟が高度急性期・急性期のどちらに区分されるかによって値が大きく変わりうることに留意は必要であるが）2018年：77.2%→2019年：85.1%→2020年度：78.3%であり、地域医療構想における想定病床稼働率（75%）を上回っている。
- ・一方、県平均と比べても高度急性期の平均在棟日数はやや短い。
- ・急性期・回復期・慢性期ともに、2020年度においては必要病床数に対して不足しており、必要な病床数の確保が課題ではないか。



令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【利根】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	7病床	74人/日	156床	47.5%	5.3日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病床・地域包括ケア病床等	高度急性期	7病床	268人/日	319床	81.6%	11.8日	
		急性期	23病床	835人/日	1,070床	80.3%	11.2日	
	回復期リハビリ病床	回復期	25病床	619人/日	898床	70.1%	21.1日	
		回復期	8病床	311人/日	370床	85.6%	57.1日	
	特殊疾患病床・障害者施設等	慢性期	8病床	331人/日	394床	83.9%	86.6日	
	医療療養病床	慢性期	9病床	312人/日	414床	86.4%	179.5日	
介護療養病床	慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
	産科の一般病床	急性期	4病床	54人/日	108床	52.5%	4.0日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病床等	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病床を急性期、ない病床を慢性期とする
		急性期	1病床	12人/日	30床	40.7%	3.7日	
		回復期	0病床	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病床	急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
		慢性期	1病床	7人/日	14床	53.5%	18.7日	
その他	不明	不明/休棟	19病床	245人/日	552床	47.8%	14.3日	
	休棟・休床中	不明/休棟	5病床	17人/日	172床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	342人/日	75.0%	70.0%
急性期	901人/日	78.0%	76.8%
回復期	930人/日	90.0%	74.5%
慢性期	650人/日	92.0%	84.3%
不明	262人/日	-	38.5%
合計	3,085人/日	-	70.7%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病床	85.6%
うち産科・小児科を除く急性期一般病床1、一般病床7:1	84.8%
うち産科・小児科を除くその他の一般病床	67.9%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病床等	92.7%
うち産科・小児科を除く有床診療所	39.3%
うち小児科の一般病床・有床診	-

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	14病床	342人/日	475床	335床	426床	70.0%	9.2日
急性期 計	28病床	901人/日	1,208床	2,316床	1,580床	76.8%	9.8日
回復期 計	33病床	930人/日	1,268床	705床	1,448床	74.5%	26.5日
慢性期 計	18病床	650人/日	822床	969床	1,176床	84.3%	103.6日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	24病床	262人/日	724床	172床☆	-	38.5%	14.3日
全体	117病床	3,085人/日	4,497床	4,497床	4,630床	70.7%	16.2日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病床等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	50床
急性期	341床
回復期	69床
慢性期	92床
休棟中・無回答	172床
	724床

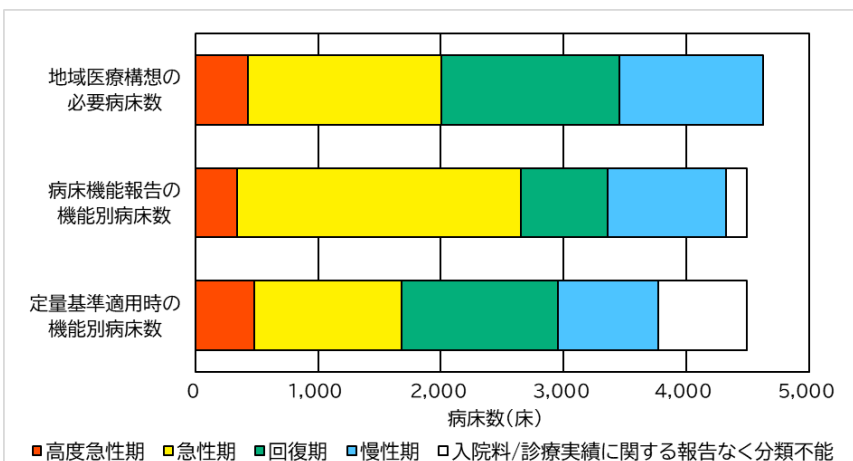
※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病床を除いて算出。

【集計分析結果から想定される課題】

・前回の分析に比べ、きわめて少なかった高度急性期の病床が大きく増え、多かった急性期の病床数が大きく減った。急性期の病床の一部について、より重症度の高い患者への対応が可能となるような機能強化を通じて、高度急性期の病床が増強された可能性もあるが、新型コロナウイルス感染症対応によって生じた一時的なものである可能性であることにも留意が必要であると思われる。



令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【北部】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	6病床	46人/日	91床	51.4%	5.6日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病床・地域包括ケア病床等	高度急性期	1病床	35人/日	42床	83.4%	8.6日	
		急性期	27病床	906人/日	1,168床	78.5%	14.6日	
		回復期	23病床	596人/日	894床	62.5%	17.2日	
	回復期リハビリ病床	回復期	3病床	141人/日	155床	93.0%	70.5日	
	特殊疾患病床・障害者施設等	慢性期	3病床	126人/日	121床	-	-	
	医療療養病床	慢性期	19病床	812人/日	849床	91.5%	194.9日	
介護療養病床	慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病床を急性期、ない病床を慢性期とする
	産科の一般病床	急性期	8病床	125人/日	275床	61.2%	7.5日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病床等	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	1病床	11人/日	42床	26.5%	8.0日	
		回復期	0病床	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病床	急性期	1病床	10人/日	14床	71.6%	17.0日	
		慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
その他	不明	不明/休棟	2病床	9人/日	17床	51.1%	28.6日	
	休棟・休床中	不明/休棟	6病床	14人/日	145床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	81人/日	75.0%	62.3%
急性期	1,053人/日	78.0%	74.1%
回復期	738人/日	90.0%	66.1%
慢性期	938人/日	92.0%	91.5%
不明	23人/日	-	8.9%
合計	2,833人/日	-	73.5%

回復期の内訳		病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病床		93.0%
うち産科・小児科を除く急性期一般病床1、一般病床7:1		-
うち産科・小児科を除くその他の一般病床		56.6%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病床等		76.3%
うち産科・小児科を除く有床診療所		29.4%
うち小児科の一般病床・有床診		-

4機能ごとに集計

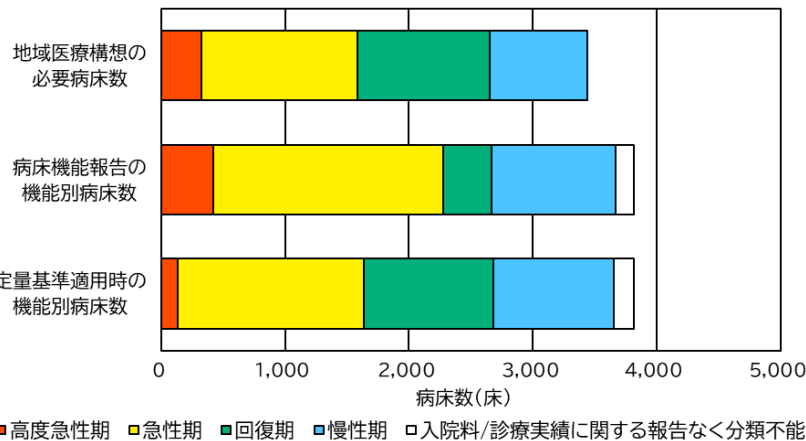
4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	7病床	81人/日	133床	420床	327床	62.3%	6.7日
急性期 計	37病床	1,053人/日	1,499床	1,854床	1,258床	74.1%	12.9日
回復期 計	26病床	738人/日	1,049床	393床	1,066床	66.1%	19.6日
慢性期 計	22病床	938人/日	970床	1,001床	791床	91.5%	194.9日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	8病床	23人/日	162床	145床☆		8.9%	28.6日
全体	100病床	2,833人/日	3,813床	3,813床	3,442床	73.5%	19.2日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病床等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	2床
回復期	15床
慢性期	0床
休棟中・無回答	145床
	162床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病床を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- 回復期の病床稼働率が2018年：70.6%→2019年：69.3%→2020年度：66.1%であり、地域医療構想における想定病床稼働率(90%)よりも低い稼働率が、さらに下がっている状況にある。
- 全病床に占める回復期リハビリテーション病床の病床の割合が4.1%であり、県内で最も低い。回復期リハビリテーション病床の病床稼働率は、2018年：97.2%→2019年：93.3%→2020年度：93.0%ときわめて高く、病床が逼迫している可能性があるのではないか。

令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【秩父】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	14.5日	
		急性期	5病棟	132人/日	212床	64.1%		
	回復期リハビリ病棟	回復期	5病棟	125人/日	198床	60.8%	21.0日	
		慢性期	1病棟	37人/日	40床	92.8%	81.4日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	1病棟	53人/日	60床	89.0%	57.5日	
	医療療養病床	慢性期	5病棟	108人/日	177床	74.4%	84.7日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
	産科の一般病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	0病棟	0人/日	0床	-		
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-		
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする	
		慢性期	0病棟	0人/日	0床	-		
その他	不明	不明/休棟	1病棟	0人/日	29床	0.0%	-	
	休棟・休床中	不明/休棟	0病棟	0人/日	0床	-	-	

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	0病棟	0人/日	0床	0床	31床	-	-
急性期 計	5病棟	132人/日	212床	353床	174床	64.1%	14.5日
回復期 計	6病棟	162人/日	238床	126床	181床	67.1%	26.4日
慢性期 計	6病棟	161人/日	237床	237床	214床	79.7%	71.0日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	1病棟	0人/日	29床	0床☆	-	0.0%	-
全体	18病棟	455人/日	716床	716床	600床	66.3%	24.8日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

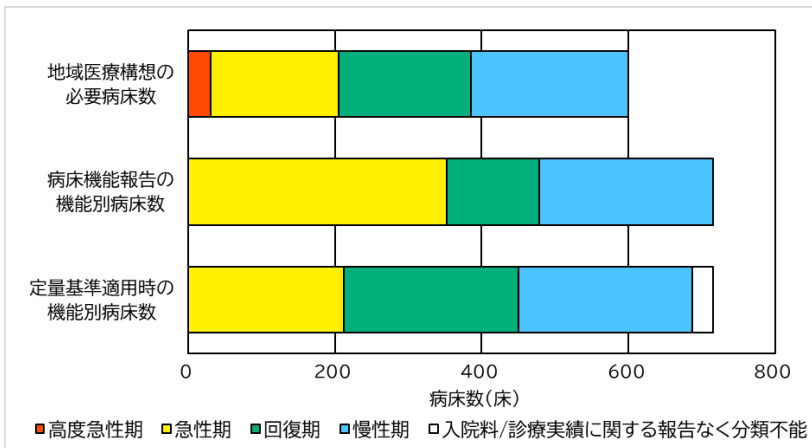
☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	0人/日	75.0%	-
急性期	132人/日	78.0%	64.1%
回復期	162人/日	90.0%	67.1%
慢性期	161人/日	92.0%	79.7%
不明	0人/日	-	0.0%
合計	455人/日	-	66.3%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	92.8%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	-
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	82.2%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	43.1%
うち産科・小児科を除く有床診療所	2.7%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	29床
回復期	0床
慢性期	0床
休棟中・無回答	0床
	29床



【集計分析結果から想定される課題】

- ・高度急性期が域内になく、病棟間の機能分化が、他地域に比べて不明瞭である可能性があるのではないか。
- ・人口規模が小さいこと、2025年における必要病床数が現在の病床数を大きく下回ることを考慮すると、「域内での完結性を向上させるべき機能」「他地域との連携によって提供を図る機能」「県内他地域で不足が顕著となる中で、積極的に域内への受入れを図る機能」の整理が必要ではないか。

各圏域の定量基準による機能別病床稼働率（令和3年度報告）

4機能区分	4機能区分まとめ					合計
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	不明	
埼玉県全体	70.4%	74.7%	75.1%	86.8%	52.9%	74.6%
南部	65.5%	73.4%	77.0%	82.9%	34.0%	74.9%
南西部	64.0%	77.8%	74.8%	93.0%	77.5%	78.8%
東部	70.6%	74.9%	77.9%	83.9%	49.2%	73.3%
さいたま	74.5%	74.5%	79.5%	86.6%	59.7%	75.9%
県央	75.8%	74.2%	76.0%	81.8%	41.7%	72.6%
川越比企	62.4%	76.4%	74.8%	88.2%	34.3%	73.8%
西部	78.3%	71.6%	74.2%	88.4%	72.8%	77.6%
利根	70.0%	76.8%	74.5%	84.3%	38.5%	70.7%
北部	62.3%	74.1%	66.1%	91.5%	8.9%	73.5%
秩父	-	64.1%	67.1%	79.7%	0.0%	66.3%

各圏域の定量基準による機能別平均在棟日数（令和3年度報告）

4機能区分	4機能区分まとめ					合計
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	不明	
埼玉県全体	7.7日	10.7日	27.2日	150.4日	15.6日	16.7日
南部	7.2日	10.2日	24.2日	113.0日	9.0日	15.3日
南西部	7.0日	11.0日	25.8日	117.0日	24.4日	17.1日
東部	9.5日	10.4日	31.7日	126.6日	14.7日	16.8日
さいたま	7.2日	10.5日	25.5日	196.7日	15.9日	13.5日
県央	6.4日	10.7日	33.0日	170.8日	17.4日	15.2日
川越比企	9.7日	10.8日	27.3日	147.9日	9.7日	17.9日
西部	6.4日	10.4日	34.2日	271.5日	17.3日	21.1日
利根	9.2日	9.8日	26.5日	103.6日	14.3日	16.2日
北部	6.7日	12.9日	19.6日	194.9日	28.6日	19.2日
秩父	-	14.5日	26.4日	71.0日	-	24.8日

各閾値の月別状況（令和3年度報告※）

しきい値による判定対象データ（最大使用病床数あたりの数量）

		区分線1									区分線2				
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
		全身麻酔下 手術	胸腔鏡・腹 腔鏡下手術	悪性腫瘍手 術	超急性期脳 卒中加算	脳血管内手 術	経皮的冠動 脈形成術	救急搬送診 療料	救急医療に 係る諸項目	重症患者の 対応に係る 諸項目	全身管理へ の対応に係 る諸項目	手術	胸腔鏡・腹 腔鏡下手術	放射線治療 (レセプト 枚数)	化学療法 (日数)
		2.0回/月・ 床以上	0.5回/月・ 床以上	0.5回/月・ 床以上	あり	あり	0.5回/月・ 床以上	あり	0.2回/月・ 床以上	0.2回/月・ 床以上	8.0回/月・ 床以上	2.0回/月・ 床以上	0.1回/月・ 床以上	0.1枚/月・ 床以上	1.0日/月・ 床以上
埼玉県全体	4月	0.30593	0.05815	0.06822	0.00000	0.00021	0.02533	0.00021	0.02337	0.01208	1.50216	0.72694	0.05815	0.02411	0.39632
埼玉県全体	5月	0.23691	0.04533	0.05846	0.00005	0.00011	0.02116	0.00037	0.01968	0.01393	1.45467	0.60020	0.04533	0.02206	0.36867
埼玉県全体	6月	0.32445	0.06596	0.07002	0.00011	0.00021	0.02786	0.00037	0.01995	0.01224	1.43995	0.78129	0.06596	0.02343	0.37817
埼玉県全体	7月	0.36255	0.06263	0.06611	0.00005	0.00032	0.03198	0.00058	0.01910	0.01446	1.53234	0.85706	0.06263	0.02417	0.40080
埼玉県全体	8月	0.36186	0.06115	0.06226	0.00026	0.00026	0.02622	0.00021	0.01979	0.01045	1.52243	0.81939	0.06115	0.02396	0.36951
埼玉県全体	9月	0.35764	0.06290	0.06516	0.00016	0.00005	0.02981	0.00032	0.01704	0.00923	1.45309	0.82904	0.06290	0.02390	0.40017
埼玉県全体	10月	0.39859	0.06997	0.07192	0.00011	0.00032	0.03525	0.00021	0.02274	0.01662	1.61176	0.95003	0.06997	0.02454	0.41442
埼玉県全体	11月	0.34487	0.06110	0.06743	0.00016	0.00026	0.03145	0.00021	0.01863	0.01720	1.57340	0.82588	0.06110	0.02549	0.37827
埼玉県全体	12月	0.35542	0.06411	0.06569	0.00011	0.00026	0.03002	0.00032	0.02227	0.01762	1.55598	0.83580	0.06411	0.02480	0.37606
埼玉県全体	1月	0.33585	0.05583	0.06680	0.00016	0.00032	0.02712	0.00021	0.02570	0.01472	1.49615	0.78398	0.05583	0.02053	0.37875
埼玉県全体	2月	0.33959	0.05815	0.06749	0.00005	0.00016	0.02876	0.00032	0.02153	0.01525	1.35094	0.77406	0.05815	0.02174	0.35263
埼玉県全体	3月	0.40196	0.07192	0.08147	0.00011	0.00032	0.03435	0.00042	0.01889	0.01662	1.51995	0.92977	0.07192	0.02279	0.39431
埼玉県全体	年度計	0.34380	0.06143	0.06759	0.00011	0.00023	0.02911	0.00031	0.02072	0.01420	1.50107	0.80945	0.06143	0.02346	0.38401

※ 令和3年度報告から、報告対象期間がこれまでの1か月（報告対象年の6月）から通年化（報告対象年の前年の4月～3月）されたことに伴い、報告対象期間中の各閾値の月別状況の分析を行っております。